

# 皆瀬川に鮎の稚魚を放流—in 皆瀬頭首工—

平成24年6月12日、横手市立増田小学校1年生児童（48人）による鮎の稚魚の放流が、皆瀬頭首工で行われました。

この活動は、学校近くを流れる皆瀬川に稚魚を放流することを通して、自然環境の大切さや生き物の尊さ、力強さを肌で感じ取ってもらう事を目的としており、地元漁業協同組合や関係機関の協力を得て、今年で3年目を迎えます。

当日は天候にも恵まれ、児童一人一人に稚魚の入ったバケツが手渡されると、バケツの中で元気良く飛び跳ねる稚魚に驚きながら、体長約10cmに育った鮎（約7千匹）を代わる代わる交替で放流しました。

放流後、小さな体で川を泳ぐ鮎の姿に子供たちは「元気に育ってね!」「美味しくなってね!」など思い思いの声援を送っていました。

その後、施設見学会も行われ、管理棟内に展示している頭首工周辺で捕獲された昆虫の標本を興味津々に観察していました。

入学してから初めての野外学習となったこの活動は、子供たちにとって良い思い出になったと思います。



活動体制	
実施主体	水土里ネット雄物川筋（秋田県雄物川筋土地改良区）
後援・連携	東北農政局平鹿平野農業水利事業所、秋田県平鹿地域振興局農林部農村整備課 横手市産業経済部農林整備課、皆瀬川筋漁業協同組合
実施期間	平成24年6月12日
参加者	横手市立増田小学校1年生（児童48人）等 計80人
報道関連	AKT秋田テレビ、ABS秋田放送、朝日新聞社
活動実施年数	11年目（H14年～）
連絡先	〒013-0102 横手市平鹿町醒醐字浅舞山13-74 秋田県雄物川筋土地改良区 TEL.0182-32-2244
その他	さなえ賞（H19）、県知事賞（H22）

## 【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット雄物川筋（吉田 一則）

○活動の目標及び達成率	目標	放流を通し、自然の大切さや生き物の尊さ、力強さを体感する。			
	達成率	90%			
○活動に対する評価	・まだあどけなさが残る子供たちにとって、貴重な体験を通し学べる活動となっている。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	B	関係市の協力により、報道関係各社等に対し活動のPRを行っている
①役職員・組合員の参加	C	今後、役員等に対し参加を呼びかけ活動の輪を広げて行きたい	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	B	若手職員を主体とした立案・計画・実践活動を行っている	①他組織との連携構築	B	学校や関係機関、地元漁協との連携が構築されている
2. 活動の意義性について			②地域住民等の理解	D	限られた参加者での活動となっている事から、規模拡大等出来る範囲で活動内容を見直す必要がある
①基本理念の設定	B	放流活動を通し、自然環境の大切さや生き物の尊さ、力強さを感じてもらおう	③施設管理・地域資源の保全強化	C	放流を通し、環境保全に対する意識の向上に繋がっていると感じる
②地域の歴史等の伝承	E		④運動の地域づくりへの関わり	C	テレビや新聞等の報道により、広く活動について理解を得ていると思う
③運動の先駆性	B	一般的に川原などで行われる放流をあえて施設内で行うことにより、施設の持つ多面的機能の啓発に繋がっている	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	E	
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	E	
①運動の継続性	B	小学校の恒例行事として位置付けられている	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	C	限られた参加範囲での活動となっている事から、今後更なる拡がりを模索したい	・頭首工等の農業水利施設を学習の場として活用して頂くために、教育関係機関へのPR活動を更に強化する必要がある。		
③運動の計画性	E				

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他